



設置期限は 5月31日!!



取り付けましたか？ 住宅用火災警報器

住宅用火災警報器（以下 住警器）の設置期限まであと1カ月となりましたが、皆さんのお宅ではもう設置しましたか？

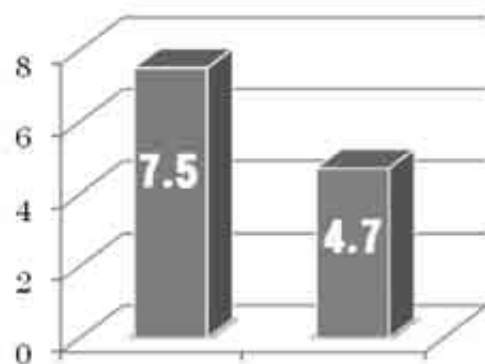
新築の住宅については、平成18年6月1日よりすでに設置が義務付けられていましたが、平成23年の6月からは、既存の住宅でも設置が義務化されます。今月は、住警器設置の必要性や設置方法などを紹介します。

なぜ住宅警報器が必要なの？

全国の建物火災のうち約9割が住宅火災です。毎年、住宅火災により1000人以上の方が亡くなっています。死に至った原因が「夜間就寝中の逃げ遅れ」の割合が6割を超え、また死者の半数が65歳以上の高齢者となっており、一番安心していられるはずの住宅で多くの命が犠牲になっています。そうした背景から、平成18年より住警器の設置が義務化



住宅火災100件あたりの死者数



設置なし 設置あり
平成22年度版消防白書より

火災の被害が減少！

全国で平成18年から平成21年までの3年間の住宅火災のうち不注意による出火を原因とした住宅火災4万4085件において住警器の設置による被害減少の効果が得られました。住警器が設置されている場合は、設置されていない場合に比べ火災による被害がおおむね半減し火災発生時の死亡リスクも大幅に減少しました。平成21年中の住宅火災での死者数は1023人でこのうち約6割が逃げ遅れによるものです。住警器を設置することで少ない被害で火災を消し止めたり、早く避難ができて助かったという事例が多く報告されています。

倶知安町の設置状況は？

平成22年12月現在、住警器設置率は、北海道全体で66%、札幌市で84%、羊蹄山ろく7か町村で64%となっています。

倶知安町の設置率は、倶知安消防署で調査した結果、51%となっており、札幌市と比較しても約30%の差があります。

住警器の設置率が低い要因として、約90%は設置が「義務付けられた」と知っているのに、既存住宅の設置期限まで猶予があることから「様子をみている」が約40%、「費用負担が大きい」が約20%と設置に足踏みをしているのが現状のようです。

アンケート調査結果

（平成22年度 倶知安消防署調）

回答数 1,105 件

住警器を知っていますか？ いはい 5%

はい 95%

住警器を設置していますか？

はい 51% いいえ 49%

設置していない理由は？

- まだ様子を見ている...38%
- 費用負担が大きい...19%
- 賃貸なので所有者が設置すると思う...13%
- 設置する気がない...2%
- その他...28%